

平成29年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
 II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
 III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
 IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
 V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 京都府 】

学校名【 京都府立京都すばる高等学校 】

1 実践テーマ	京都府テーマ【 Ⅲ・Ⅳ 】・スポーツ庁テーマ【 Ⅱ・Ⅴ 】
2 実施対象者	京都府立京都すばる高等学校 全校生徒 930名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名 () ② 行事名 (LHRを活用した「おもてなし」研修会) ③ その他 (部活動) (2) 地域における活動 ① イベント名 () ② その他 ()
4 目標 (ねらい)	<ul style="list-style-type: none"> ・2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けて、世界中、多くの国や地域からいらっしゃる方々に対し、私たちがどのように行動すべきなのかについて考察し、心遣い(おもてなし)の在り方についての理解を深める。また、全国各地で展開される関連ボランティア活動等への参画意欲の高揚を図る。 ・異校種間のスポーツ交流を行い、スポーツを通じた交流の在り方を考える。
5 取組内容	【1】「おもてなし」研修会 ・講演日時 平成29年10月30日(月) 14時35分～16時10分 [95分] ・会場 本校 体育館 ・対象 全校生徒(930名)及び教職員 ・テーマ 『100の満足を引き出すおもてなしの心～すばるから発信する心づかひの極意～』 ・講師 筑波大学教授 江上 いずみ 氏



	<ul style="list-style-type: none"> ・主な内容 2020年東京オリンピック・パラリンピック開催にあたり、全国各地に選手のキャンプ地が置かれ、ボランティア活動も展開されることを御紹介いただいた。競技関係者、応援者等、多くの方々が世界各国から来日され、東京以外の日本各地にも滞在される見込みであり、皆様を京都にお迎えするにあたり、「100の満足を引き出すおもてなしの心」を私たちが持って接することができるよう、心遣いの極意を御講演により伝授していただいた。 【2】中学生対象「バレーボール教室」 ・開催日時 1月31日(水) 19時～21時 ・会場 本校 体育館 ・対象 近隣中学校生徒（参加28名） ・内容 本校部員と近隣中学生がバレーボールを通して交流
6 主な成果	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒たちは、2020東京オリンピック・パラリンピック事前キャンプ地・選手村等が全国各地に置かれることを理解し、京都府にも各国の方が訪れることを意識し、「最上級のおもてなし」と「ボランティア活動」についての認識を深めることができた。 生徒アンケートでは、全ての生徒から好評であった。「(講師の方)のおもてなしの心に感動した。」「京都にお見えになる皆さんの満足度を高めるおもてなしをしたい」等の感想もあり、世界に通用するおもてなしの極意についての知見を広めた。 ・バレーボール教室は、生徒にとって、スポーツによる地域貢献の可能性に気づくよい機会となった。
7 実践において工夫した点(事業の特色)	<ul style="list-style-type: none"> ・実施時期を、本校の特色ある学校行事の一つであり、日常の教育成果を発揮する場としての『販売実習京都すばるデパート』の前月とし、講演内容が日々の学習との相乗効果が期待できるように工夫をした。 ・バレーボール教室では、事前指導において交流時の配慮事項等について考えさせた。
8 主な課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者や地域の方を招いての取り組みに至っていない。 ・京都の文化についての理解をさらに深め、海外の人たちにもアピールできる教育をさらに推進する。 ・さらなるボランティア精神の育成を図る。
9 来年度以降の実施予定	<ul style="list-style-type: none"> ・オリンピックを招聘し、スポーツへの関心の向上及びスポーツボランティアへの参画を目指す取り組みを実施したい。また、保護者や地域の方も巻き込んで実施したい。